

IMAGE RECORDING SYSTEM

Publication number: JP2000259367

Publication date: 2000-09-22

Inventor: MURAKAMI OSAMU

Applicant: FUJI XEROX CO LTD

Classification:

- International: B41J5/30; B41J29/38; G06F3/12; B41J5/30;
B41J29/38; G06F3/12; (IPC1-7): G06F3/12; B41J5/30;
B41J29/38

- European:

Application number: JP19990064391 19990311

Priority number(s): JP19990064391 19990311

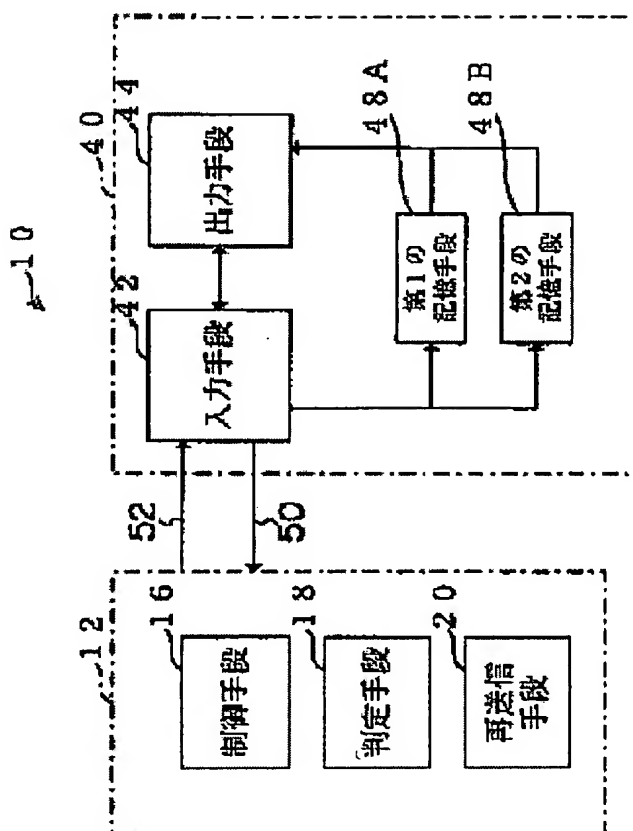
Report a data error here

Abstract of JP2000259367

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an image recording system which is high in utility efficiency of a storage means, even when printing of plural printing jobs exceeding a storage capacity of the storage means is performed, and can perform printing that is not accompanied with manual operation.

SOLUTION: In this image recording system, when printing of the plural copies is performed, an image storage device 40 stores printing data 52 received from an image data supply device 12 in printing a first copy in a first storage means 48, repetitively reads the printing data just for the number of copy from the first storage means 48A, and performs printing. When all the printing data 52 cannot be stored in the first storage means 48A, the printing data stored in the first storage means 48A are read and printing is performed.

Successively, remaining printing data 52 are received from the image data supply device 12 by way of a second storage means 48B and printing of a part to be printed is continually performed. The printing is repeated for the specified number of copies.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(3)

【0003】しかしながら、このような方法で複数部の印刷処理を行った場合、上述したように印刷データを印刷部数と等しい回数だけ画像記録装置に繰り返し送り送受信する必要がある、全部数分の印刷が完了するまでに長時間を要する、という問題点があった。

【0004】この問題を解消するために適用し得る技術として、特開平7-96638号公報記載の技術では、入力されたデータを大容量記憶手段に記憶しておき、これを設定された回数だけ読み出して印刷することにより、データの再送信を不要としていた。

【0005】また、特開平8-163336号公報記載の技術では、印刷対象とする原稿の画像データを取り込んで記憶手段に記憶し、該記憶手段の複製を取り出して印刷することによりデータの手続きを省くことが可能となる。また、上記記憶手段にメモリオーバーフローが発生した場合には記憶手段をリセットした後に残りの画像データの記憶及び印刷を実行を行うことによりオーバーフローが発生したページ以降の必要部数の印刷を行っていた。

【0006】また、特開平9-163042号公報記載の技術では、記憶手段に記憶された部分だけ複製部印刷し、これを繰り返すことによって記憶手段の記憶容量より大きなサイズの印刷ジョブを実行していた。

【0007】更に、特開平9-205541号公報記載の技術では、記憶手段に画像データを記憶し、該記憶手段に記憶された画像データを所定数分繰り返して読み出して印刷する際に、記憶手段の再取得を不要とし、上記記憶手段に空き領域がなくなった場合には記憶手段に記憶された画像データのうちの、所定数分の印刷が終了した画像データが記憶されている領域を空き領域として残りの画像データの記憶を継続していた。

【0008】
【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記印刷開平7-96638号特許記載の技術では、1つの印刷ジョブのデータ量が肥字組版の発注を越えた場合が考慮されず、爆弾の大きな印刷ジョブを複数部印刷する場合、印刷データの消失の危険があり、印刷の執行も困難であり、印刷ジョブを生成する際に該印刷ジョブのサイズに特別に注意を払う必要がある、という問題点があった。

【0009】一方、上記特開平8-1633336号公報及び特開平9-205541号公報の各公報に記載の技術手段では、記憶手段に書き領域がなくなつた場合には記憶手段に記憶されたデータを消去してデータの再受信、又は再読み込みを行うので、記憶手段を設けた意味がなく、複製部印刷する情報の効率が悪い、という問題点があった。

【0010】更に、上記特開平9-163042号公報記載の技術では、印刷ジョブを複製部分に分割し、各部毎に指定部数の印刷を行っているので、図10に示す

ように、出力結果は部分毎に指定部数分排紙されるため、同図に示すように各々の区切りで排紙位置をシフトすることによって部数間の切れ目を判りやすくした場合であっても、人手により各部分を抜き出して重ねる作業が必要となる、という問題点があった。

【0011】本發明は上記問題点を解消するために成されたものであり、記憶手段の記憶容量を越えた印刷ジョブの複製部の印刷を行う場合であっても記憶手段の使用効率が高く、かつ人手による作業を伴わない印刷処理を目的とする。

【0012】
 【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の画像記録システムは、印刷データが生成して送信する画像データ供給装置と該画像データ供給装置から送信された前記印刷データを受信して該印刷データに応じた印刷処理を行う画像記録装置とを備えた画像記録システムであって、前記画像データ供給装置が、送信した印刷データを送信する必要があるか否かを

を前記画像記録装置から送信されるステータス情報に基づいて判定する判定手段と、前記印刷データの前面像（背面像）への送信を開始すると共に、前記判定手段によって再送信が必要であると判定された印刷データを再度送って再び送信するように制御する制御手段と、前記判定手段の通知から再送開始の要求を受信した場合に、前記判定手段によって再送信する必要があると判定された印刷データの前記画像記録装置への再送信を行う再送信手段と、これを備え、前記画像記録装置が、前記画像データ供給処理を終了するまで保持する第１の記憶手段と、前記画像データ供給装置から受信した印刷データを記憶し登録して完了した供託書に付随して印用紙を送る際に、全部数の印刷処理が行われるように調整する調整手段と、前記調整手段

(7)

印刷データが読み出される毎に消去される第2の記憶手段と、複製版の印刷指定されたとき、1節目の印刷処理を行う際に、それは前記装置から受信してきた、印刷データを前記第1の記憶手段に順次配していき、前記第1の記憶手段の空き領域がなくなつた場合に前記画像データ供給装置にそれ以後の印刷データに対して再送信する必要がある旨をそのシステム情報を送信することと共に、必要であれば受領される印刷データを前記第2の記憶手段に順次配し、2節目以降の印刷処理を行う際に、印刷データを読み出される毎に消去される第2の記憶手

用は、第1部目の印刷処理を行う際に前記第2の記憶手段を用いた場合には、第1部目の印刷処理を行う際に前記第2の記憶手段に再送信開始の要求を送信し、その後前記再送信手段によって再送信された印刷データを前記第2の記憶手段に順次記憶する入力手段と、複数部の印刷が指定されたときに、全印刷部毎に、前記第1の記憶手段に記憶された印刷データを順次読み出して印刷処理を行った後、前記第2の記憶手段に後続する印刷データが記憶された場合に当該印刷部毎の印刷処理が終了するまで前記第2の記憶手段から印刷データを順次読み出して印刷処理を行うと共に読み出した印刷データを順次記憶する手段とを有する。

した印刷データを前記第2の記憶手段から消去すること
を繰り返して行う出力手段と、を備えている。

【0013】図1には請求項1記載の発明の構成が示されている。同図を参照して、本請求項1記載の発明の作用を説明する。

【0014】請求項1に記載の画像記録システム10によれば、画像データ供給装置12では、制御手段16によって、印刷データ52の画像記録装置40への送信が制御されると共に、送信した印刷データ52を再送信する必要があるか否かを画像記録装置40から送信手段18に再送信する必要があると判定された印刷データ52が再送信できるように制御され、画像記録装置40から再送信開始の要求が受信される場合に、上記判定手段18によって再送信する必要があると判定した印刷データ52の画像記録装置40への再送信が行われる。

【0015】また、請求項1記載の画像記録システム12における画像記録装置40には、画像データ供給装置122から受信した印刷データ52を記憶し、全部署の印刷処理が完了するまで保持する第1の記憶手段48Aと、画像データ供給装置122から受信した印刷データ52を記憶し、記憶した印刷データ52が読み出される毎に消去される第2の記憶手段48Bが備えられており、画像データ供給装置40では、複数の印刷が指定されたときに、入力手段42によって、1部目の印刷処理が行われる際には画像データ供給装置122から受信した印刷データ52が第1の記憶手段48Aに供給されていき、第1

の配信手段４８Ａの空き領域がなくなった場合に画像データ供給装置１２にそれ以後の印刷データに対して再送信される必要があらざることを保証する。図４の配信手段４８Ｂは順次配信され、２節目以降の印刷処理の際には１節目の印刷処理が行われる場合にのみ、画像データ２の配信手段４８Ｂが用いられない場合にのみ、画像データ２に再送信手段１２によって再送信される。その後、図４の配信手段４８Ｂに順次配信される。

【0016】更に画像記録装置40では、複製部の印刷データが指定されたときに、出力手段44によって、各印刷部毎に、第1の配電手段48Aに配電された印刷データ52の第2に順次読み出される印刷処理が行われた後、第2の配電手段48Bに後続する印刷データ52が配電された場合に当該印刷部の印刷処理が終了するまで第2の配電手段48Bから印刷データ52が順次読み出されて印刷処理が行われると共に読み出された印刷データ52が第2の配電手段48Bから消去されることが繰り返される。

【0017】従って、請求項1に記載の画像記録システムによれば、画像記録装置に第1の記憶手段と第2の記憶手段とが設けられ、第1の記憶手段は、第2の記憶手段よりも記憶容量が大きい。

機種の２つの記録手段を備えると共に、第１の記録手段に印刷データを順次記憶していくとき、第１の記録手段に空き領域がなくなつた場合には、第１の記録手段に記憶された印刷データを順次読み出して印刷処理を行った後に、再び第１の記録手段を用いて逐次受信し、以上のようして当該印刷部目の印刷処理を継続して行ひ、以上のような第１の記録手段に記憶された印刷データによる印刷処理と第２の記録手段を用いて逐次受信した印刷データによる印刷処理とを指定された印刷部数の数だけ繰り返して実行しているので、第１の記録手段に記憶された印刷データの画像データと格納装置から画像記録装置への再転送に要する時間を削減することができ、第１の記録手段及び第２の記録手段の使用効率が上がり、かつ人手による作業を伴わない印刷処理を行うことが可能である。

【0018】なお、請求項に記載の発明のように、請求項1記載の発明において、前記画像データ供給装置は、前記第3の記憶手段に送る全ての印刷データは前記第3の記憶手段に更に備え、前記印刷データは前記第3の記憶手段から印刷データを読み出して前記画像記憶装置に送信するように制御すると共に、前記判定手段は前記第3の記憶手段から印刷データを読み出して前記判定手段に送信するように制御すると共に、前記判定手段は前記第3の記憶手段から印刷データを読み出して前記判定手段に消去するように制御することになる。

【0019】また、請求項3に記載の発明のように、請求項1記載の発明において、前記印刷手段は前記判定手段によって再送信の必要があると判定された印刷データのみを全ての印刷処理が終了するまで保持しておくことが好ましい。

【0020】また、請求項4に記載の発明のように、計
算機が、所定のデータとして位置された原稿の画像を撮
取して前記記録位置に供給する原稿供給手段と、画像読
取り後の原稿を排出する原稿排出手段と、再読み取り
を行う必要がある原稿を保持する再読取原稿保持手段
と、を更に備え、前記制御手段は前記原稿読取手段から
出力された画像データを前記印刷データとして前記画像
記録装置に送信する共に、前記判定手段によって再送
送する必要があると判定された印刷データに対応する原
稿を前記原稿排出手段に排出し、前記判定手段によつて
再送する必要があると判定された印刷データに対応す
る原稿を前記再読取原稿保持手段に供給する形態とする
ことができる。

【0021】更に、請求項5に記載の発明のように、請求項1乃至請求項4の何れか1項記載の発明において、前記出力手段は、複数の印刷が指定されたときに各印刷部毎の印刷処理が終了する毎に印刷済み用紙の排出位置がシフトされるように制御することが好ましい。

【0022】なお、請求項1乃至請求項5の何れか1項

(5)

7

タをそのまま前記第1の記憶手段又は前記第2の記憶手段に記憶し、前記出力手段は前記第1の記憶手段又は前記第2の記憶手段から印刷データを読み出して逐次ラスタイメージに変換して出力する形態とすることができ

る。
【0023】また、請求項1乃至請求項5の何れか1項の発明において、前記入力手段は受信した印刷データを中間フォーマットのコードデータに変換した後に前記第1の記憶手段又は前記第2の記憶手段に記憶し、前記出力手段は前記第1の記憶手段又は前記第2の記憶手段から前記中間フォーマットのコードデータを読み出し、逐次ラスタイメージに変換して出力する形態とするこ

ともできる。

【0024】更に、請求項1乃至請求項5の何れか1項の発明において、前記入力手段は受信した印刷データをラスタイメージに変換した後に圧縮して前記第1の記憶手段又は前記第2の記憶手段に記憶し、前記出力手段は前記第1の記憶手段又は前記第2の記憶手段から前記圧縮されたラスタイメージを読み出して伸長した後に出力する形態とすることもできる。

【0025】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して、本発明の実施の形態について詳細に説明する。

【0026】〔第1実施形態〕 まず、図2を参照して、本第1実施形態に係る画像記録システム10の構成について説明する。図面に示すように本第1実施形態に係る画像記録システム10には印刷データを生成して出力する画像データ供給装置12と、画像データ供給装置12から出力された印刷データに基づいて印刷を行う画像記録装置40とが備えられている。

【0027】画像データ供給装置12にはコンピュータ14及びスプール30が備えられており、コンピュータ14及びスプール30は接続されている。コンピュータ14には図示しない磁気ディスク装置が内蔵されており、該磁気ディスク装置には印刷データを生成してスプール30に格納する適用業務プログラム、スプール30に格納された印刷データを読み出して順次画像記録装置40に転送する書き出しプログラム等のプログラムが記憶されている。

【0028】一方、画像記録装置40には画像データ供給装置12のコンピュータ14と接続された入力部42が備えられており、入力部42は印刷データに基づいて1ページ毎にページイメージを生成して出力する出力部44に接続されており、更に出力部44は上記ページイメージに基づいて記録用紙への印刷を行うプリンタエンジン46に接続されている。

【0029】入力部42はコンピュータ14により上記適用業務プログラムを実行することによってスプール30に格納された印刷データ52を画像データ供給装置12から受信すると共に、画像データ供給装置12に対し

8

て各種情報を示すステータス情報50を送信する。

【0030】図3には、本実施形態におけるステータス情報50の構成が示されている。図面に示すようにステータス情報50は8ビット(1バイト)で構成されており、そのうちの下位6ビットは各々、全てのデータ処理が終了した場合に1となる「データ処理終了」ビット、印刷データの再送を要する場合に1となる「再送信必要」ビット、印刷データの再送信の開始を要求する場合に1となる「再送信開始要求」ビット、印刷ジョブが終了した場合に1となる「印刷ジョブの終了」ビット、指定された部数分の印刷が全て終了した場合に1となる「全部数の出力完了」ビット、及び印刷データの送信を停止させる場合に1となる「送信待ち要求」ビットとされている。

【0031】一方、図2に示すように、画像記録装置40には大容量ファイル48A及び一時記憶ファイル48Bが設けられた磁気ディスク48が備えられており、上記入力部42及び出力部44は大容量ファイル48A及び一時記憶ファイル48Bに各々接続されている。

【0032】なお、大容量ファイル48Aは複数部印刷するために画像データ供給装置12から受信した印刷データを全ての印刷ジョブが完了するまで保持する比較的大容量のファイルであり、一時記憶ファイル48Bは画像データ供給装置12からの印刷データの受信と該受信した印刷データによる印刷処理とを並行して実行するために必要な最小限の容量を有したファイルである。

【0033】コンピュータ14が本発明の制御手段、判定手段及び再送信手段に、スプール30が本発明の第3の記憶手段に、入力部42が本発明の入力手段に、出力部44が本発明の出力手段に、大容量ファイル48Aが本発明の第1の記憶手段に、一時記憶ファイル48Bが本発明の第2の記憶手段に、各々相当する。

【0034】次に、本実施形態に係る画像記録システム10が印刷処理を行う際的作用について説明する。なお、ここでは、この印刷処理を行うに先立ってコンピュータ14により上記適用業務プログラムが実行されて印刷データがスプール30に格納されている場合について説明する。

【0035】まず、図4を参照して、コンピュータ14の作用を説明する。なお、図4は上記書き出しプログラムのフローチャートである。

【0036】同図のステップ100ではスプール30から所定量の印刷データを読み出し、次のステップ102ではスプール30内のポインタ(図示せず)を次に読み出す印刷データのスプール30上の先頭アドレスに更新する。

【0037】次のステップ104では全ての印刷データの画像記録装置40への転送が終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)はステップ106へ移行し、終了した場合(肯定判定の場合)には

(6)

9

ステップ114へ移行する。

【0038】ステップ106では上記ステップ100においてスプール30から読み出した所定量の印刷データを画像記録装置40に転送し、次のステップ108では画像記録装置40の出力部42から送信されてくるステータス情報50をチェックし、次のステップ110ではステータス情報50の「再送信必要」ビットが1であるか否かに基づいて印刷データを再送する必要があるか否かを判定し、再送する必要がある場合(肯定判定の場合)はステップ112へ移行してスプール30に格納されている印刷データのうち、上記ステップ106において転送した印刷データのスプール30から消去した後に上記ステップ100へ戻り、再送する必要がある場合(肯定判定の場合)には上記ステップ112の処理を実行することなく上記ステップ100へ戻る。

【0039】すなわち、スプール30には再送する必要がある印刷データが保持されることになる。

【0040】一方、ステップ114では印刷ジョブの終了を示す情報を印刷データに含めて画像記録装置40に送信することにより印刷ジョブが終了した旨を画像記録装置40に通知し、次のステップ116では上記ステップ114による印刷ジョブの終了を示す情報に対して画像記録装置40から返信されるステータス情報50の「再送信開始要求」ビットが1であるか否かに基づいて画像記録装置40から再送信開始要求があったか否かを判定し、再送信開始要求があった場合(肯定判定の場合)はステップ118へ移行して上記スプール30内のポインタをスプール30内に保持されている印刷データのスタート100上の先頭アドレスに更新した後に上記ステップ130へ戻り、再送信開始要求がなかった場合(否定判定の場合)は画像記録装置40側の印刷ジョブが完了したものと見なしてステップ120へ移行してスプール30に保持している印刷データを全て消去した後に本書き出しプログラムを終了する。

【0041】次に、図5を参照して、入力部42の作用を説明する。なお、図5は入力部42によって印刷処理を行う際に実行されるプログラムのフローチャートである。また、ここではコンピュータ14から受信した印刷ジョブの属性として「複数部印刷」が指定されていた場合にについて説明する。

【0042】同図のステップ200ではコンピュータ104から送信された印刷データを受信し、次のステップ202では受信した印刷データに印刷ジョブの終了を示す情報が含まれているか否かに基づいて印刷ジョブが終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)はステップ204へ移行して受信した印刷データが1部目の印刷に対応するものであるか否かを判定し、1部目の印刷に対応したか否かを判定した場合(肯定判定の場合)はステップ206へ移行して大容量ファイル48Aがフル(空き領域がない状態)であるか否かを判定し、

10

フルではない場合(否定判定の場合)はステップ208へ移行して大容量ファイル48Aに受信した印刷データを書き込み、次のステップ210で「再送信必要」ビットを0(零)とすることによって再送不要を示すステータス情報50をコンピュータ14に対して送信した後に上記ステップ200へ戻る。

【0043】一方、上記ステップ204において印刷データが1部目の印刷に対応するものではないと判定された場合(否定判定の場合)、及び上記ステップ206において大容量ファイル48Aがフルであると判定された場合(肯定判定の場合)は共にステップ212へ移行して一時記憶ファイル48Bがフルであるか否かを判定し、フルである場合(肯定判定の場合)はステップ214へ移行してコンピュータ14に対して「送信待ち要求」ビットを1とすることによって送信待ち要求を示すステータス情報50を送信してコンピュータ14に印刷データの送信を一時停止させる。

【0044】次のステップ216では一時記憶ファイル48Bに空き領域ができるまで待機した後にステップ217に移行してコンピュータ14に対して「送信待ち要求」ビットを0(零)とすることによって送信待ち要求の解除を示すステータス情報50を送信してコンピュータ14に印刷データの送信を再開させた後にステップ218へ移行して一時記憶ファイル48Bに受信した印刷データを書き込む。

【0045】一方、上記ステップ212において一時記憶ファイル48Bがフルではないと判定された場合(否定判定の場合)には上記ステップ214へステップ217による一時記憶ファイル48Bの空き待ちを行うことなくステップ218へ移行して一時記憶ファイル48Bに受信した印刷データを書き込む。

【0046】次のステップ220では、受信した印刷データが最終部目の印刷に対応するものであるか否かを判定し、最終部目の印刷に対応するものである場合(肯定判定の場合)は上記ステップ210へ移行して「再送信必要」ビットを0(零)とすることによって再送不要を示すステータス情報50をコンピュータ14に対して送信した後に上記ステップ200へ戻り、最終部目の印刷に対応するものでない場合(否定判定の場合)にはステップ222へ移行して「再送信必要」ビットを1とすることによって再送不要を示すステータス情報50をコンピュータ14に対して送信した後に上記ステップ200へ戻る。

【0047】すなわち、上記ステップ200乃至ステップ222の処理によって、コンピュータ14から受信した印刷データを順次大容量ファイル48Aに書き込み、大容量ファイル48Aがフルとなった場合には受信した印刷データを一時記憶ファイル48Bに書き込み、一時記憶ファイル48Bもフルとなった場合には一時記憶ファイル48Bの記憶容量の開放待ちを行っ

(7)

11

た後に受信した印刷データを一時記憶ファイル48Bに書き込み、これ以降、1部目の印刷ジョブが終了するまで、一時記憶ファイル48Bの開放待ち及び一時記憶ファイル48Bへの印刷データの書き込みを繰り返して行う。

【0048】上記ステップ202において印刷ジョブが終了したと判定された場合(肯定判定の場合)にはステップ224へ移行して受信した印刷データ(当該印刷ジョブの最後の印刷データ)を大容量ファイル48A及び一時記憶ファイル48Bの何れか一方(大容量ファイル48Aが空いている場合は大容量ファイル48A、大容量ファイル48Aが空いていない場合は一時記憶ファイル48B)に書き込み、次のステップ226では一時記憶ファイル48Bを使用して、使われている場合(肯定判定の場合)はステップ228へ移行し、使用していない場合(否定判定の場合)には本プログラムを終了する。

【0049】ステップ228では最後に受信した印刷データが最終部目の印刷に対応するものであるかを判定し、最終部目の印刷に対応するものではない場合(否定判定の場合)はステップ230へ移行して入力部42に設けられた図示しない部数カウンタの値を1だけインクリメントした後にステップ232で「再送開始要求」ビットを1とすることによって再送の開始を要求する旨を示したステータス情報50をコンピュータ14に送信した後に上記ステップ200へ戻る。

【0050】一方、上記ステップ228において最終部目の印刷に相当するものであると判定された場合(肯定判定の場合)には本プログラムを終了する。

【0051】次に、図6を参照して、出力部44の作用を説明する。なお、図6は出力部44によって印刷処理を行う際に実行されるプログラムのフローチャートである。

【0052】同図のステップ300では印刷データの磁気ディスク48からの読出ポインタを大容量ファイル48Aの先頭アドレスとし、次のステップ302では上記読出ポインタに基づいて大容量ファイル48Aから所定量の印刷データを読み出し、次のステップ304では印刷ジョブの属性に基づいて複製数の印刷が指定されていない場合(否定判定の場合)はステップ306へ移行して読み出した印刷データ(大容量ファイル48A上の記憶領域を解放した後にステップ308へ移行し、複製数の印刷が指定されている場合(肯定判定の場合)には上記ステップ306の処理を行うことなくステップ308へ移行する。

【0053】ステップ308では、印刷データに印刷ジョブの終了を示す情報が含まれているか否かに基づいて印刷ジョブが終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)はステップ310へ移行して上

12

記読出ポインタを大容量ファイル48A上の次の印刷データの先頭アドレスとし、次のステップ312では上記ステップ302において読み出した所定量の印刷データに基づいてページイメージを生成して仮ページイメージをプリンタエンジン46に出力する。ページイメージを受信したプリンタエンジン46は該ページイメージに基づく印刷を行う。

【0054】次のステップ314では大容量ファイル48Aに記憶された全ての印刷データの読み出しが終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)は上記ステップ302へ戻り、終了した場合(肯定判定の場合)にはステップ316へ移行する。

【0055】ステップ316では一時記憶ファイル48Bへの印刷データの書き込み待ちを行い、その後ステップ318へ移行して一時記憶ファイル48Bに書き込まれた印刷データを読み出し、次のステップ320では読み出した印刷データの一時記憶ファイル48B上の記憶領域を解放する。

【0056】次のステップ322では印刷データに印刷ジョブの終了を示す情報が含まれているか否かに基づいて印刷ジョブが終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)はステップ324へ移行して一時記憶ファイル48Bから読み出した印刷データに基づいてページイメージを生成して該ページイメージをプリンタエンジン46に出力した後に上記ステップ316へ戻る。ページイメージを受信したプリンタエンジン46は該ページイメージに基づく印刷を行う。

【0057】一方、上記ステップ308又はステップ322において印刷ジョブが終了したと判定された場合(肯定判定の場合)にはステップ328へ移行して指定された全部数分のページイメージの生成及びプリンタエンジン46への出力が終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)はステップ328へ移行して出力部44に備えられた図示しない部数カウンタを1だけインクリメントし、次のステップ330で読出ポインタを大容量ファイル48Aの先頭アドレスとした後に上記ステップ302へ戻る。

【0058】一方、上記ステップ326において指定された全部数分のページイメージの生成及びプリンタエンジン46への出力が終了したと判定された場合(肯定判定の場合)には本プログラムを終了する。

【0059】図7には、大容量ファイル48Aに記憶することができる印刷データを部分1とし、残りの印刷データを部分2として、印刷部数3の印刷処理を行う場合の本第1実施形態に係る画像記録システム10において実施される印刷処理の状態が模式的に示されている。

【0060】同図に示すように、各印刷部毎の印刷において、部分1の印刷データによる印刷は印刷データを大容量ファイル48Aから読み出して行われ、部分2の印刷データによる印刷は画像データ供給装置12からの部

(8)

13

分2の印刷データの転送(再転送)によって一時記憶ファイル48Bを介して得て行われる。

【0061】この際、大容量ファイル48Aは比較的大容量とされており、印刷ジョブの大部分の印刷データについては大容量ファイル48Aに保持されて用いられるので、大容量ファイル48Aに保持された印刷データの再送を行う必要がなく、指定された全部数分の印刷処理に要する時間を大幅に短縮することができると共に、出力された印刷済み紙は各印刷部毎に連続した状態となっているので人手による並べ替えを行う必要もない。

【0062】以上詳細に説明したように、本第1実施形態に係る画像記録システムでは、大容量ファイルと一時記憶ファイルの2つのファイルを用意すると共に、大容量ファイルに印刷データを記憶し、全ての印刷データが大容量ファイルに記憶しきれた場合においては、大容量ファイルに記憶された印刷データに基づいて印刷処理を行う後に残りの印刷データを一時記憶ファイルを用いて逐次受信して当該印刷部目の印刷処理を継続して行い、以上の大容量ファイルに記憶された印刷データによる印刷処理と一時記憶ファイルを用いて逐次受信した印刷データによる印刷処理とを指定された印刷部数の数だけ繰り返して実行しているので、大容量ファイルに記憶しきれない印刷ジョブについても印刷データの再転送に要する時間を削減することができ、記憶手段の使用効率が高く、かつ人手による作業を伴わない印刷処理を行うことができる。

【0063】[第2実施形態] 次に、本発明の第2実施形態について説明する。本第2実施形態では、コンピュータ14で実行される適用業務プログラムがサブール30を用いることなく直接入力部42に対して印刷データを転送する場合について説明する。なお、画像記録システム10の構成及び入力部42と出力部44の作用については上記第1実施形態と同様であるので、ここでの説明は省略する。

【0064】図8のフローチャートを参照して、本第2実施形態におけるコンピュータ14で実行される適用業務プログラムの処理の流れについて説明する。

【0065】同図のステップ400では所定量の印刷データを生成し、次のステップ402では生成した印刷データを画像記録装置40に転送する。

【0066】次のステップ404では印刷データの転送に応じた画像記録装置40から返送されてきたステータス情報50をチェックし、次のステップ406ではステータス情報50の「再送必要」ビットが1であるか否かに基づいて再送が必要であるか否かを判定して、再送が必要である場合(肯定判定の場合)はステップ408へ移行してコンピュータ14に備えられた図示しない磁気ディスク装置の再印刷用保存ファイルに対して画像記録装置40に転送した印刷データを書き出した後にステップ410へ移行する。

14

【0067】一方、上記ステップ406において再送の必要がないと判定された場合(否定判定の場合)には上記ステップ408を実行することなくステップ410へ移行する。

【0068】ステップ410では印刷データの生成が終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)は上記ステップ400へ戻り、終了した場合(肯定判定の場合)にはステップ412へ移行する。

【0069】ステップ412では上記ステップ114(図4参照)と同様に画像記録装置40に対して印刷ジョブの終了を通知し、次のステップ414では画像記録装置40から受信したステータス情報50の「再送開始要求」ビットに基づいて再送開始要求があったか否かを判定し、再送開始要求があった場合(肯定判定の場合)はステップ416へ移行してサブール30内の上記再印刷用保存ファイルの先頭アドレスから所定量の印刷データを読み出して画像記録装置40に対する転送を行い、次のステップ418では上記再印刷用保存ファイルに記憶した全ての印刷データの転送が終了したか否かを判定し、終了していない場合(否定判定の場合)は上記ステップ416へ戻り、終了した時点(肯定判定となった時点)で上記ステップ412へ戻る。

【0070】一方、上記ステップ414において再送開始要求がないと判定された場合(否定判定の場合)には上記ステップ420へ移行して上記再印刷用保存ファイルの印刷データを削除した後に本適用業務プログラムを終了する。

【0071】以上詳細に説明したように、本第2実施形態に係る画像記録システムでも上記第1実施形態と同様に作用するので、上記第1実施形態と同様の効果を奏することができる。

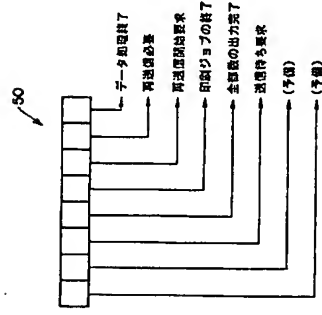
【0072】[第3実施形態] 次に、本発明の第3実施形態について説明する。本第3実施形態では、画像データ供給装置12として画像読取装置が適用された場合、本実施形態について説明する。まず、図9を参照して、本第3実施形態に係る画像読取装置60の構成について説明する。なお、画像記録装置40の構成については上記第1実施形態及び第2実施形態と同様であるので、ここでの説明は省略する。

【0073】同図に示すように画像読取装置60には原稿上の画像を光電変換によって読み取る原稿読取部62が備えられており、原稿読取部62の上部には複数の原稿がセットされて該セットされた原稿から1枚ずつ原稿を取り出して原稿搬送路66を介して原稿読取部62に供給する原稿供給部64が備えられている。

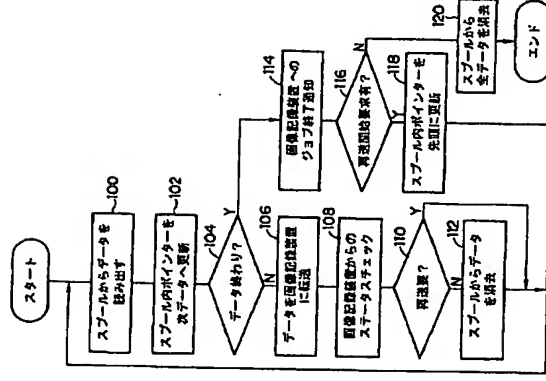
【0074】また、画像読取装置60には原稿読取部62によって画像が読み取られた原稿を排出する原稿排出部68が備えられており、更に画像読取装置60には一旦画像を読み取った原稿を再度読取するために原稿搬送路72を介して原稿読取部62に供給する原稿再供給部

(6)

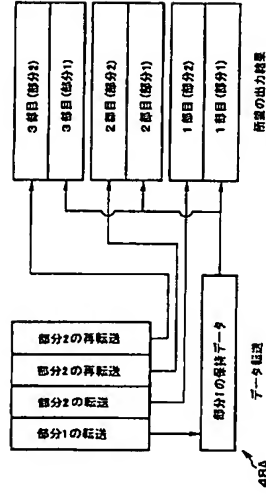
【图3】



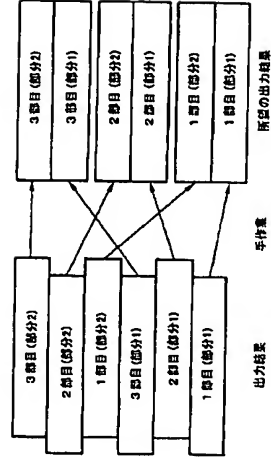
【图4】



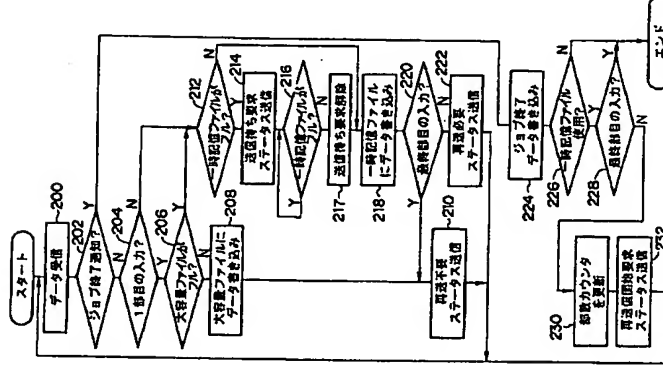
【图7】



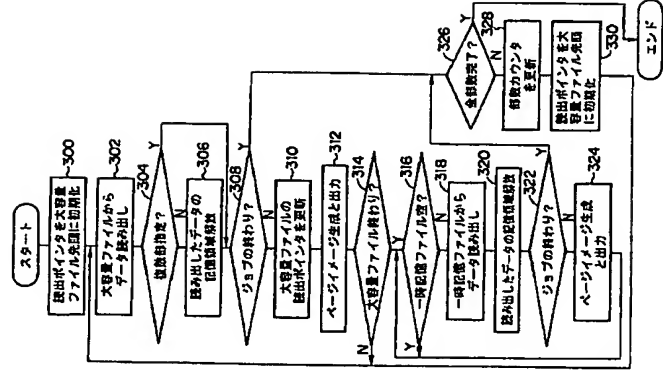
[☒10]



【图5】



【図6】



(13)

【図 8】

